

5-02 安全・安心な暮らし

視 点

- 市民が、安心(快適)で安全な生活環境で暮らせるまちにすること
- 市民の生命・財産を守るため災害に強い地域づくりをすること

5-02-01 市民相談

5年後の目指す姿

- 誰でも、どんな問題でも安心して気軽に相談できる窓口が提供され、増加が進む高齢者に対しても相談しやすい環境になっています。
- 消費者教育が充実し、トラブルが未然に防止され、消費生活の安心感も高まっています。

現 状 と 課 題

- 市民相談の分野では、平成 28 年度から無料法律相談の開催(月 1 回)及び市民相談委員の対応(随時)となっています。
- 複雑化、超高齢社会を反映して市民生活における法的需要が増加しています。
- 消費者相談窓口を委託している消費者協会の相談員の高齢化等により、持続可能な相談窓口の確立と機能の強化が課題となっています。

前 期 の 方 向 性

- 無料法律相談の弁護士を派遣する旭川弁護士会との連携を密にし、市民の不安、トラブルの迅速な解消のため、相談体制を維持していきます。
- 消費者教育が充実し、トラブルが未然に防止され、安全・安心な消費生活を目指します。
- 国(消費者庁)の動向を見守りながら、さらに効率的な事業手法に見直していきます。
- 持続可能な消費者相談体制を見据え、消費者協会等と連携を図りながら窓口機能の強化及び相談体制の充実を図っていきます。

数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
消費者協会相談件数 (件)	128	128	128	125	125	120

5-02-02 防 犯

5年後の目指す姿

- 安全で安心な暮らしを送ることは、自治の基本であり、地域が一丸となった防犯活動を行うことで、市民が「安全で安心なまち」を実感しています。
- 夜間における通行の安全と犯罪の防止につながる防犯灯が町内会等により維持管理されています。

現 状 と 課 題

- 留萌市防犯協会会員を主とし、警察署や会員事業所、町内会などの地域と協力した防犯活動を実践しています。
- 市内で発生した児童を狙った声かけ事案、全国的にも増加傾向にある高齢者を狙った特殊詐欺の防止について、さらに防犯対策事業を進める必要があります。
- 町内会が管理する防犯灯は、大半がLED灯具となり Co2 削減と経費の節減になっています。

5-02 安全・安心な暮らし

前期の方向性

- 暴力追放・防犯都市宣言に基づき、犯罪の抑止力になるような環境づくりに努めるとともに、警察署、地域安全活動推進委員、協会会員等と連携し、各種防犯活動を支援・実践していきます。
- 継続的な活動により、さらに犯罪抑止効果の高い事業実施に向けて努めていきます。
- 町内会に対する防犯灯の新設や交換に要する費用の補助制度を継続し、維持管理を支援していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
刑法犯発生件数 (件)	105	100	95	90	85	80

5-02-03 除雪

5年後の目指す姿

- 局所的な大雪に対応するため、道路管理者の連携体制が構築され幹線道路の通行が確保されています。

現状と課題

- 除排雪業務を担う事業者数が減少する傾向にあります。
- 除排雪業務に携わる従事者は、一部では若年層も確保されているものの全体的には高齢化が進んでいます。

前期の方向性

- 除雪機械については、計画的な更新を行い、現行除雪体制を確保していきます。
- 市民雪捨て場の2か所を確保し継続していきます。
- 道路管理者による「除排雪連携協議会」を機動的に活用し、主要幹線道路(緊急輸送道路・バス路線)等、優先的の確保に努めていきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
市民雪捨て場利用台数 (千台)	37	37	37	37	37	37
大雪による通行止め日数 (日)	0	0	0	0	0	0

5-02-04 火災・救急救命

5年後の目指す姿

- 応急手当の普及は、傷病者の救命率向上につながり、消防機関の救急業務の効果も高まっています。
- 大規模災害時における住民の自主救護能力が向上しています。

5-02 安全・安心な暮らし

現状と課題

- 市民を対象とする普通救命講習は3時間と長めなため受講しにくいという人が多く、一般講習(1時間)と救命入門コース(1時間30分)の依頼が多くなっています。

前期の方向性

- 市民もAEDの使用が認められており、今後も広く住民への周知を継続し、消防と住民が連携した救命体制の構築を推進していきます。
- AEDを24時間利用できる事業所等へ協力を求め、救命講習等を通じて市民へAED設置施設の情報を提供していきます。
- 災害のない安全・安心なまちづくりを目指し、複雑多様化する各種災害に対応するため、消防施設の充実強化を図り災害対応力の向上に努めていきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
普通救命講習受講率 (%)	20	40	42	44	46	48

5-02-05 交通安全

5年後の目指す姿

- 家庭・企業や事業所・地域での交通安全に対する意識が高まり、市民が当事者になる交通事故は減少しています。

現状と課題

- 超高齢社会を迎え、高齢者が加害者・被害者になる割合が上昇しているため、高齢者を対象とした新たな運動が必要になってきています。
- 飲酒や酒気帯び運転根絶に向けた活動や運動のさらなる強化が必要になってきています。
- 自転車利用者の危険運転を減らすため、家庭や学校でのより一層の交通安全教育が必要となっています。

前期の方向性

- 交通事故による加害者・被害者をなくすため、各関係機関との連携により、交通安全教室など、各種啓発活動を進め、交通事故の減少に努めていきます。
- 特に飲酒・酒気帯び運転の根絶運動を積極的に実施していきます。
- 引き続き交通死亡事故撲滅に向け、警察署や各関係機関と連携を強化し、市民の交通安全意識の向上につながるよう交通安全運動を積極的に実施していきます。

数値目標

※現状：H27

指標項目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
交通事故発生件数 (件)	12	10	10	10	10	10
交通事故死者数 (人)	0	0	0	0	0	0